

マルキンだより



畜産PR大使「おーいたん」

公益社団法人 大分県畜産協会

TEL:097-545-6594

FAX:097-554-4049

第133号

令和4年2月分交付金概算払単価公表

肉用牛肥育経営安定交付金制度の令和4年2月分の交付金概算払単価が公表されましたので、概算払いを行います。

また、2月分の公表された交付金単価は、交雑種については8,449.5円、乳用種については47,147.7円の交付となります。肉専用種の発動はありませんでした。

詳細につきましては、肉用牛肥育経営安定交付金制度の交付金単価について【令和4年2月分】(独立行政法人農畜産業振興機構発行)をご覧ください。

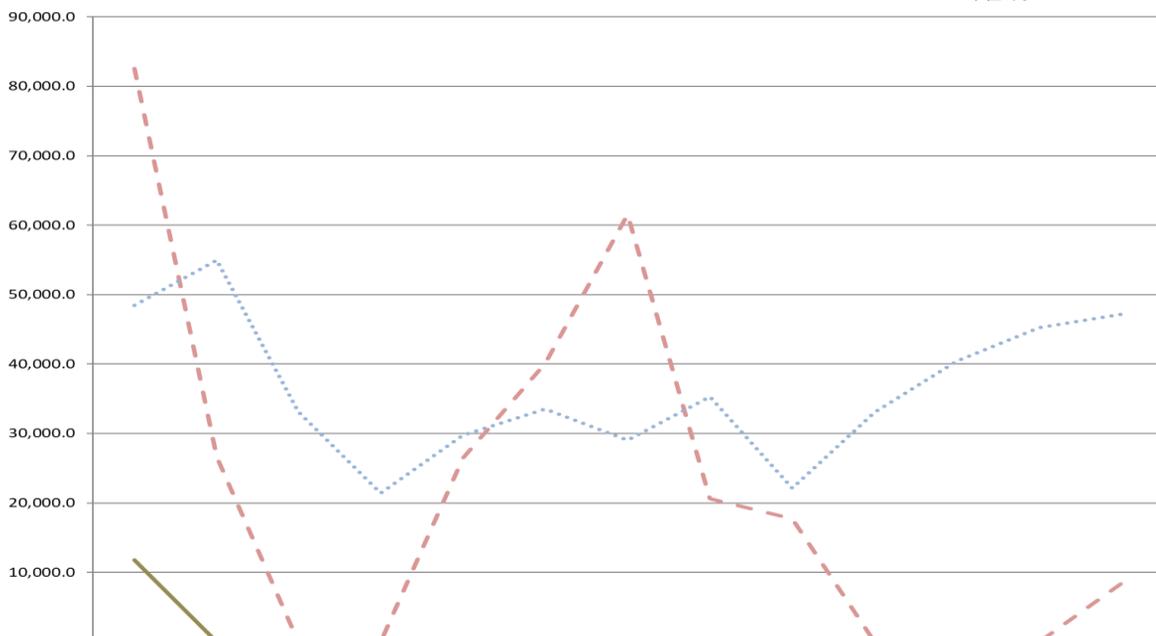
トピックス

●令和4年2月分の単価(概算払)が公表されました。

●2月分の交付金交付は、4月26日(火)を予定しております。

交付金発動状況

単位:円



	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4.1月	2月
— 肉専用種	11,807.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
- - 交雑種	82,541.7	26,658.9	0.0	0.0	26,485.2	40,140.9	61,515.0	20,589.3	17,713.8	0.0	0.0	0.0	8,449.5
... 乳用種	48,483.9	54,922.5	33,157.4	21,420.5	29,786.4	33,510.6	29,024.1	35,327.7	22,146.3	33,033.6	40,420.8	45,274.8	47,147.7

牛マルキン事業に関するホームページ

★公益社団法人 大分県畜産協会 <http://oota.lin.gr.jp/>

当協会のホームページです。マルキン情報の他、市場結果、種雄牛情報等も掲載しております。

★独立行政法人 農畜産業振興機構 https://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin_00002.html

補填金単価の公表の他、単価算定に関する各種参考資料等が掲載されております。

★畜産物の市況展望【牛肉】

～まん防解除で期待感、スソ物に集中か～

3月の牛枝肉価格は、まん延防止重点措置が首都圏や関西など18都道府県で延長されたため歓送迎会などのイベントが中止となり、外食需要は低調だったが需要の底は脱し、一時期に比べ緩やかながらも相場は上方修正された。ただ、荷動きはスソ物に偏り、ロイン系や5等級は伸び悩んだ。

2月の牛枝肉価格は、和牛は去勢A5が前月比74円安の2,565円（前年同月比135円安）、同A4は75円安の2,284円（同162円安）、同A3は93円安の2,058円（同170円安）、A2は152円安の1,784円（同95円安）と続落。オミクロン株が猛威を振るい、外食向けの荷動きは一気に冷え込み、牛枝肉価格が落ち込んだ。

交雑牛も同様に在庫過剰感が強く、一部量販店からの引き合いが強いB4こそ11円高の1,635円（同10円高）となったが、B3は34円安の1,444円（同57円安）、同B2は74円安の1,255円（同93円安）と下げた。

乳去勢はスソ物を中心にけんちょうでB2で同51円安の962円（37円高）。

3月は感染者数が減少傾向に転じたことから少しずつ飲食店に客足が戻り底を脱したが、度重なる生活必需品の値上げが家計を圧迫していること、ロシアのウクライナ侵攻が世界経済に深刻な影響を及ぼしつつあり、需要はスソ物への移行が顕著に。輸入牛肉の高止まりと入船遅れによって入居制は先高感が強まり、ホテルの宴会需要でヒレは一気に高騰した。ブライダルなどで需要が本格化すればさらに上げの可能性も含んでいる。量販店では交雑牛が主力アイテムとなっている。気温上昇に伴い焼き材中心に引き合いが活発化するか。

家畜改良センターによると8月までは和牛、交雑牛共に増加傾向が続くが、乳去勢は10%程度の減少が続く見通し。まん防解除で観光地などの地方需要が回復してくれば引き合いが良化し、4月は反発する見通し。

ロシア動向など先行き不透明感が残るが、和牛去A5で2,800円前後、A4で2,550～2,600円、A3で2,300円。交雑種は去勢B3で1,650円中心か。

★令和4年4～6月期の配合飼料供給価格を改定—JA全農

今後の配合飼料供給価格、飼料情勢・外国為替情勢等が載っておりますので、参考にご覧ください。（別紙 NEWS FLASH 参照）

（※公益社団法人中央畜産会 発行 畜産コンサルタント誌4月号 抜粋）